

- 問1 鎌倉時代中期、当時の巨大帝国であった元が日本に服従を求めてきた際、その要求を拒絶し、幕府の最高責任者である執権として大規模な防衛体制を敷いた人物は誰ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 源頼朝 2. 足利尊氏 3. 北条時宗 4. 北条時政
- 問2 源頼朝が全国に守護・地頭を設置する権限を朝廷に認めさせたことは、その後の日本の政治体制にどのような変化をもたらしたと考えられますか。その背景と目的を含めた説明としてふさわしいものを選びなさい。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 武士が荘園や公領の実質的な支配権を握ることで、幕府が全国の武士を統制し、地方政治に介入する仕組みを整えた。
2. 朝廷が派遣していた国司の権限を完全に消滅させ、幕府が直接税金を徴収する中央集権体制を即座に完成させた。
3. それまで続いていた律令制度の地方官職である国司や郡司と、武家側の守護・地頭を統合し、新しい文武両道の役職を作った。
4. 貴族による土地所有を全面的に禁止し、すべての土地を将軍の直轄地とすることで、封建社会を終わらせた。
- 問3 鎌倉時代に起こった出来事のうち、その時期が最も遅い（新しい）ものを、当時の国際情勢や国内の法整備の流れを踏まえて選びなさい。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 後鳥羽上皇が隠岐へ流される原因となった承久の乱
2. モンゴル帝国のフビライ・ハンによる服属要求を拒否したことによる元寇
3. 白河上皇が天皇の位を譲ったあとにも政治の実権を握った院政の開始
4. 北条泰時が裁判の基準を明確にするために定めた御成敗式目
- 問4 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が朝廷側の貴族や武士から没収した西日本の所領に対して行った措置として、正しい説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 朝廷との対立を避けるため、没収した領地をすべて元の貴族に返還した。
2. 西日本の全域に、地頭の職務を兼ねる有力な公家を配置した。
3. 没収した領地に、新たに東国の御家人を地頭として任命した。
4. 没収した領地を幕府の直轄領とし、武士の立ち入りを一切禁止した。
- 問5 鎌倉幕府が置かれた鎌倉の地は、軍事的な防衛を強く意識した都市構造を持っていました。当時の鎌倉の地形的特徴と、それに関連した防衛の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 太宰府のように水城と呼ばれる大規模な堤防を築き、海から上陸する敵の攻撃を遮断した。
2. 広大な盆地の中心に位置し、四方に張り巡らされた水路によって外敵の侵入を防いだ。
3. 三方を山に囲まれ南は海に面した地形で、山を切り開いた狭い通路のみを外部との連絡路とした。
4. 平坦な土地に巨大な石垣と堀を幾重にも配置し、陸上交通の要所を完全に封鎖した。
- 問6 平安時代末期の社会不安を背景に、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土に生まれ変わりを願う信仰が貴族から民衆へと広まり、その後の鎌倉仏教の発展にも大きな影響を与えました。この信仰を何と呼びますか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 浄土信仰 2. 鎮護国家の思想 3. 禅宗の教え 4. 本地垂迹説
- 問7 鎌倉時代の武士社会において、将軍と御家人の結びつきを支えた「御恩」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 御家人が将軍に対して、京都や鎌倉の警護を行うこと
2. 将軍が御家人に対し、年貢の徴収や警察権を全国規模で代行させること
3. 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること
4. 御家人が将軍に対して、戦時に命をかけて軍役を果たすこと
- 問8 鎌倉幕府が元軍による襲来に備え、また襲来後の防衛体制を強化するために、鎌倉から九州へかけての迅速な情報伝達を目的として整備・延長した制度の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 広島県公立入試 類似)
1. 守護・地頭の設置 2. 駅制 3. 検地 4. 参勤交代
- 問9 鎌倉時代初期、朝廷の権威を回復しようと努めた後鳥羽上皇の命により、藤原定家らが編集した勅撰和歌集はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 山家集 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 古今和歌集
- 問10 平安時代末期から鎌倉時代にかけての土地制度の変化について、地頭という用語を用いて正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府は地頭を貴族の中から選ぶことで、朝廷と幕府が共同で荘園を管理する体制を築いた。
2. 地頭は、全国の武士に領地を分け与える際の土地調査を行うことを唯一の目的として設置された。
3. 源頼朝は、国ごとに任命された地頭を通じて、朝廷の国司が行っていた行政をすべて廃止させた。
4. 源頼朝は、平氏を滅ぼした後に全国の荘園や公領へ地頭を設置し、幕府が年貢の徴収に関与できるようにした。
- 問11 鎌倉幕府を樹立した源頼朝が、1185年に朝廷へ認めさせて全国の国ごとに設置した役職のうち、国内の軍事・警察や御家人の統率を主な任務としたものは何ですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 地頭 2. 国司 3. 検非違使 4. 守護
- 問12 13世紀初頭に成立したモンゴル帝国とその指導者であるチンギス＝ハンについて、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. モンゴルの諸部族を統一し、騎馬軍団の武力を背景にユーラシア大陸にまたがる空前の大帝国を築いた。
2. 仏教を国教として定め、東南アジアから日本に至るまで僧侶を派遣して文化的な統一を図った。
3. 漢民族による伝統的な官僚制を重視し、科举制度を導入することで文治政治を徹底した。
4. 地中海沿岸の都市国家を征服し、古代ギリシャの文化を継承する地中海帝国を再興した。
- 問13 鎌倉幕府が元寇の後に「徳政令」を発令せざるを得なくなった背景と、その影響について述べた文として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 防衛戦であったために獲得した土地が少なく、十分な恩賞を与えられなかったことで困窮した御家人の不満を鎮めるために出されたが、経済を混乱させた。
2. 分割相続の繰り返しによって領地が細分化した御家人たちの土地を統合し、一族の団結力を高めて元軍の再来に備えるために強制的に行われた。
3. 承久の乱の後に没収した上皇方の所領を御家人に公平に分配するため、北条泰時が武士独自の慣習に基づいて裁判の基準とともに制定した。
4. 元寇による軍費を調達するために、全国の農民から一時的に税を免除する代わりに土地の所有権を幕府に返上させる目的で実施された。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権である北条時宗は、モンゴル帝国（元）のフビライ・ハンからの通告を断固として拒否しました。日本史上最大の危機の一つとされる元寇に対し、九州の警備を強化する「異国警固番役」を設置するなど、武士を統率して防衛を指揮しました。
問2	答え 1 武士が荘園や公領の実質的な支配権を握ることで、幕府が全国の武士を統制し、地方政治に介入する仕組みを整えた。	守護・地頭の設置は、それまで朝廷や貴族が中心だった地方支配の枠組みに、武力を持った幕府が介入する決定的な転換点となりました。特に地頭が荘園や公領に入り込み、土地の管理権を得たことで、現地の有力な武士（御家人）に経済的な裏付けを与え、彼らを幕府の指揮下に置くことが可能になりました。ただし、当初は国司の権限も残っており、朝廷と幕府による二重の支配構造となっていた点に注意が必要です。
問3	答え 2 モンゴル帝国のフビライ・ハンによる服属要求を拒否したことによる元寇	鎌倉時代の政治的な流れは、1221年の承久の乱、1232年の御成敗式目制定、そして13世紀後半（1274年・1281年）の元寇という順序になります。白河上皇による院政は平安時代末期の出来事であり、鎌倉時代の出来事ではありません。元寇はモンゴル帝国（元）のフビライ・ハンによる大規模な侵攻であり、この中では最も新しい時期の出来事です。
問4	答え 3 没収した領地に、新たに東国の御家人を地頭として任命した。	承久の乱で勝利した鎌倉幕府は、後鳥羽上皇側についた貴族や武士の所領を3000か所以上も没収しました。これらの土地に、乱で功績を挙げた東国の御家人を新たに地頭（新補地頭）として任命し、派遣しました。これにより、それまで朝廷の勢力が強かった西日本においても、幕府の支配力が大幅に強化されることになりました。
問5	答え 3 三方を山に囲まれ南は海に面した地形で、山を切り開いた狭い通路のみを外部との連絡路とした。	鎌倉は、三方の山が城壁の役割を果たし、南の海が堀の役割を果たすという、要塞としての機能を持った都市でした。陸路で外部とつながる場所は、山を切り開いて造られた「切通し」と呼ばれる非常に狭い通路に限定されていました。これにより、敵の軍勢が一斉に攻め込むことを難しくし、少ない兵力でも都市を守りやすくする工夫がなされていました。選択肢にある「広大な盆地」や「水城」は、鎌倉の地形的特徴とは一致しません。
問6	答え 1 浄土信仰	平安時代中期以降、仏法が衰えるという「末法思想」が広まり、現世での救いよりも来世での救済を求める声が高まりました。これが浄土信仰であり、宇治の平等院鳳凰堂などの建築物にもその影響が見られます。この信仰が、鎌倉時代に念仏を重視する新しい宗派が誕生する直接的な土壌となりました。
問7	答え 3 将軍が御家人に対し、領地の所有権を認めたり新たな土地を与えたりすること	鎌倉時代の主従関係は「土地」を仲立ちにしていました。将軍から御家人への働きかけが「御恩」、御家人から将軍への奉仕が「奉公」です。警護や軍役は「奉公」の内容にあたります。御恩の根幹は、武士にとって最も重要な財産である「領地」を将軍が保証することにあります。なお、全国に置かれた地頭や守護の職に任命することも御恩に含まれますが、選択肢にある「警察権を全国規模で代行させる」のは役職としての守護の職務説明に近いものです。
問8	答え 2 駅制	元軍の襲来（元寇）という対外的な危機に直面した鎌倉幕府は、九州での合戦の様子を速報し、幕府の命令を迅速に届けるために、馬などを中継して連絡を行う「駅制」を九州まで延長しました。これにより、広範囲にわたる軍事指揮が可能となりました。
問9	答え 2 新古今和歌集	鎌倉時代初期に成立したこの和歌集は、後鳥羽上皇の強い意志によって編纂されました。藤原定家や、漂泊の歌人として知られる西行などの優れた歌人の作品が多く収められており、繊細で華麗な歌風が特徴です。奈良時代の『万葉集』、平安時代の『古今和歌集』と並び、日本の古典文学を代表する作品の一つです。
問10	答え 4 源頼朝は、平氏を滅ぼした後に全国の荘園や公領へ地頭を設置し、幕府が年貢の徴収に関与できるようにした。	歴史的な変遷を整理すると、1185年に源頼朝が守護・地頭を設置したことが大きな転換点です。これにより、荘園や公領において従来からいた荘園領主や国司の力が弱まり、代わって幕府から派遣された地頭（武士）が現地で実質的な支配力を高めていくことになりました。これは、武家社会が形成される過程で非常に重要な出来事です。
問11	答え 4 守護	源頼朝は、対立した弟の源義経を捕らえるという名目で、国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭を設置する権利を朝廷から獲得しました。守護は主に国内の軍事・警察的な役割を担い、地域の武士である御家人の統率にあたりました。これに対し、土地の管理や年貢の取り立てを主な任務としたのは地頭です。
問12	答え 1 モンゴルの諸部族を統一し、騎馬軍団の武力を背景にユーラシア大陸にまたがる空前の大帝国を築いた。	チンギス＝ハンは、それまで分裂していたモンゴルの諸部族をまとめ上げ、強力な軍事力を背景に領土を急速に拡大させました。その支配領域はアジアからヨーロッパ東部にまで及び、ユーラシア大陸を横断する広大な帝国となりました。他の選択肢にある仏教による文化的統一や地中海帝国の再興などは、モンゴル帝国の成立過程や特徴とは合致しません。
問13	答え 1 防衛戦であったために獲得した土地が少なく、十分な恩賞を与えられなかったことで困窮した御家人の不満を鎮めるために出されたが、経済を混乱させた。	元寇での戦功に対する恩賞不足に加え、貨幣経済の浸透や分割相続によって御家人の経済状況は悪化していました。幕府は借金の帳消しや領地の返却を命じる徳政令で救済を試みましたが、これにより金銭の貸し借り（金融）が停滞し、かえって経済が混乱して幕府への信頼を失墜させる原因の一つとなりました。